

王寺町と連携協定を締結



雪丸の右が王寺町長（7/4）

7月4日（月）、当会は王寺町と連携協定を締結いたしました。ともに手を携えて地域活性化や観光・文化振興に努めます。

当会会員が奈良検定の試験監督

第15回奈良検定から、当会はさまざまな面で試験のサポートを行っています。試験当日（3/13）は奈良会場と東京会場で、会員20人が初の試験監督を務めました。



ソムリエ試験会場（天理大学）

藤井哲子さんが個展を開催



ご自身の作品の前で（4/21）

4月17日（日）～23日（土）当会会員の藤井哲子さんが「ギャラリー天平ならまち」で個展「いにしえに会いにー藤井哲子 exhibition 2022」を開催され連日、多くの方が来場されました。

なお藤井さんの作品は9月18日（日）～26日（月）、東京都美術館「近代美術協会展」にも出展されます。

町集会所で開眼・祝賀法要



中央右の脇僧が小倉さん（5/28）

奈良市の鹿野園町集会所が保管してきた十一面観音菩薩立像の開眼法要と、市指定文化財祝賀法要が5月28日（土）、同集会所で営まれました。

同町在住の当会理事で尼僧の小倉つき子さんの著書『廃寺のみ仏たちは今』が契機となって文化財指定されたもので、法要の脇僧も小倉さんがお務めになりました。

奈良シニア大学グルメサークル

当会が講師を派遣している奈良シニア大学で、今年度後期から「暮らしと文化」の授業（奈良・歴史部）が始まることにちなみ、クラブ活動として「グルメサークル」をスタートさせました。

単に美味しいものを食べるのではなく、数々の料理を生み出し、日本の食文化のルーツとされる「奈良の食文化」を学ぶのが目的です。講師は鉄田専務理事で、アシスタントも当会会員が務めます。第2回（6/13）の様子は、毎日新聞に紹介されました。



食事中に食の日本史を解説（6/13）

食文化の歴史を解説する鉄田専務さん（奥）



古代の「うまいもん」堪能

「奈良にうまいもんなし?」。そんなことはありません。奈良シニア大学の講師の鉄田専務さん(68)が5月、奈良の食文化の魅力を紹介するグルメサークルをつくった。シニア大学の受講生約30人が13日、奈良市のホテルリカーレ春日野が提供する古代食を堪能。食後に奈良時代の高級貴族の邸宅跡などを散策し、食と観光で古都の歴史を満喫した。【田中謙吉】



奈良シニア大学にグルメサークル

「奈良にうまいもんなし?」。そんなことはありません。奈良シニア大学の講師の鉄田専務さん(68)が5月、奈良の食文化の魅力を紹介するグルメサークルをつくった。シニア大学の受講生約30人が13日、奈良市のホテルリカーレ春日野が提供する古代食を堪能。食後に奈良時代の高級貴族の邸宅跡などを散策し、食と観光で古都の歴史を満喫した。【田中謙吉】

魅力発信で「定説覆る?」



毎日新聞奈良版の記事（6/14）

「奈良 SDGs学び旅」に協力



ガイド前に SDGs の説明を

当会は、「奈良新しい学び旅推進協議会」（奈良商工会議所や奈良教育大学、県や市などで構成）が取り組む「奈良 SDGs 学び旅」に、当会事務局長直轄のプロジェクトとして協力しています。

令和 2 年度の座学研修からスタート、昨年度当会は、東大寺・ならまちでフィールドワークに参加、実際のガイドも始まりました。8 月 3 日には「笑い飯 哲夫

氏による対話スキル向上編」も開催され、「自己満足で終わらないように。お客様の喜びは自分の喜び。共有が大事！」と独自の視点で笑いも交えて楽しく学びました。

また、今年 1 月 8 日には、「奈良で学べる SDGs」と題して奈良教育大学の中澤静男教授の講義が行われました。中澤先生は「同じものでも光を当てる方向を変えるだけで、その光り方が違ってきますよ」「1300 年続いている奈良には、受け継がれてきた持続可能な何かがあるはず」「現代だけでなく、将来の人も幸せにするにはどうしたらいいかを考え、SDGs を取り入れてガイドをすることが大切」と話されました。参加したメンバーからは、「今まで

お客様と一緒に考えながらガイドをしたことがなかったので、改めて気づくことが多かった」との声がありました。



講義後に東大寺でガイド

SDGs のガイドは、最後にお客様にアンケートを書いてもらいます。SDGs を理解して観光してもらうため何度も改善し、人々の心に種を蒔こうと、メンバーも研鑽を積んで楽しく奈良を学んでいるところです。

（広報 G 増田優子）

県指定文化財調査の結果を報道発表、県に提言書提出



記者クラブでの報道発表（4/26）

保存継承グループは 4 月 26 日に県庁内の文化教育記者クラブで一昨年から昨年にかけて実施した「奈良県指定文化財調査」の結果を発表しました。6 月 12 日までに毎日、奈良、産経、読売の各紙と奈良テレビで報道され、県民にも調査結果について知って

いただく機会となりました。



舟木部長（右）に
提言書を提出（同日）

発表の後、県文化・教育・くらし創造部長室を訪ね、舟木豊部長に豊田敏雄理事長から文化財の保存に関する提言書などを手渡しました。緊急性が高い 3 項目で早期の対応を提言し、これと別に

8 項目で対応を要請しました。舟木部長は「貴重な提言を文化財行政に生かしていきたい」と前向きな発言でした。

ソムリエの会 HP には前回調査の後、「災害対策等現況調査」の名称で調査結果をアップしました。今回の調査結果は「奈良県指定文化財調査」の名称でアップするとともに、前回調査の結果も引き続き閲覧できます。県指定文化財を対象にした調査は前回が建造物と彫刻、今回は史跡、名勝、天然記念物、有形民俗文化財で、計 6 分野を終えたことになります。

（保存継承 G 久門たつお）

県指定文化財調査の結果まとめ（保存継承 G）

◆はじめに

保存継承グループは2020年6月から2021年10月まで「奈良県指定文化財調査」を実施しました。当グループとしては4回目になった調査の概要、結果まとめ、参加者の感想を報告します。

◆調査概要

（1）趣旨

県指定文化財を後世に伝えていく上で必要なことを探るため、個々の文化財を訪ねてソムリエ会員の目で調査、現状の課題を検討・評価しました。

（2）対象と調査先

県指定文化財のうち、史跡54件、名勝4件、天然記念物63件、有形民俗文化財23件の計144件を対象とし、調査できたのはそれぞれ54件、3件、55件、18件の計130件でした。動物の確認が難しい、所有者の対応困難などの理由で14件は見送りました。県内39市町村のうち、34市町村に足を運びました。

（3）調査項目

現地で説明板の設置の有無、表記や管理は適切かを調べました。現地到着をサポートする案内板の設置が適切かもチェック。その上で、対象の現状や管理状況、課題などについて検討しました。

（4）実施内容

県内を北部、東部、西部、南部の4エリアに分け、グループの22人がどれかのエリアを担当。現地を訪問して目視調査、場合によっては関係者からの聞き取りを行なうとともに写真撮影。チームで評議後、担

当者が調査票を作成しました。活動は全体で36日、参加者は延べ155人でした。

◆結果まとめ

130件の調査票それぞれで「当面の課題」「今後の課題」欄に記入。史跡43件、名勝2件、天然記念物32件、有形民俗文化財15件の計92件で重要と考えられる課題が見つかり、新たに「課題記入表」を作成。その上で緊急性、重要度の視点から11項目68件（重複10件）をピックアップしました。特に緊急性のある3項目25件を県への提言書に盛り込み、他の8項目43件を別紙で提言しました。

4月26日に報道発表と県文化・教育・くらし創造部への提言書提出を行いました。＝3ページ参照

＜県への提言書の骨子＞

（1）指定植物の存続が危ぶまれ、早期の調査と対応を（3件）御井神社境内のツルマンリョウ群落＝宇陀市▽初生寺境内のツルマンリョウ自生地＝宇陀市▽津風呂神社のサカキカズラ＝吉野町



指定植物が見られなくなった宇陀市「初生寺境内のツルマンリョウ自生地」（2020年9月撮影）

（2）古墳の石室内で崩落が起きており、早期の調査と対応を（2件）笛吹神社古墳＝葛城市▽宮山塚古

墳＝平群町



石室内で石の崩落（右下）が起きている平群町の「宮山塚古墳」（2021年2月撮影）

（3）説明板の早期の改善または設置を
□課題がある（10件）：尾山代遺跡＝奈良市：判読不能▽ケグワ＝川上村：樹木の説明が不十分、など
□説明板自体がない（10件）：石上神宮社そう＝天理市▽五代松鍾乳洞＝天川村、など

＜早くも成果が＞

県は別紙で提言した「県HPの県指定文化財一覧表に誤りがある」の指摘のうち「ナモデ踊り関係資料」（安堵町）の資料件数など2件を4月までに修正。大淀町は5月に「石神古墳」への案内板に新たに地図を取り付け、行きやすいよう改善していただきました。



樹木の説明が不十分な川上村の「ケグワ」（2020年7月撮影）

◆調査を終えての感想



葛城市「笛吹神社古墳」調査で宮司から説明を聞くメンバー（2020年8月撮影）

【北部チーム】奈良市、大和郡山市、生駒郡など

天然記念物のうち動植物は、気候変動や食害などにより激減しており、調査でも現認できないものがありました。一方、守り伝えようとされている地域の皆様の姿が強く印象に残っています。

（仲谷 裕巳）

道に迷い、坂道を登りながら天然記念物や遺跡を訪ねていると、地域で大切に守られている大木に出合う一方、汚れた説明板が多いことに気づきました。これぞ調査目線の貴重な体験です。

（小倉つき子）

調査では温故知新の心境でした。奥深い山道の先の峰に社と石の遺跡が残り、古人に敬服しました。一方、杉の巨木の古寺は地域で支えられていますが、限界集落で不安もよぎります。（宮本 正博）

【東部チーム】桜井市、宇陀市、高市郡など

県指定文化財調査で天然記念物は現状維持が厳しく、消滅が見つかった箇所もあり驚きました。情報開示だけ頼りにするより、現地に足を運ぶことの大切さがわかり良い経験となりました。

（橋詰 輝己）

現地で快く対応してくださった地元の方々の努力のうえに、文化財の維持・存続が成り立っていることを忘れないようにしなければと思いました。（中西 環）

調査で地元の方とお話する機会を得て、住民で保存覆堂を増改築されてきた事例、行事の復興、植生回復の活動などのご努力を知ると同時に、過疎の進む中、保存継承の課題も実感しました。

（石井 宏子）

【西部チーム】葛城市、五條市、磯城郡など

調査した文化財の約7割が何らかの課題を抱えていることが分かったのは驚きでした。県などの文化財行政の充実を望むとともに、私たちの活動も重要性を増していると実感しました。

（久門たつお）

県指定文化財といっても、草ぼうぼうのただの空き地のような所もあることに、とても驚きました。多くの方々にその存在や価値を知って頂き、保存活用の動きに繋がることを願います。

（大谷巳弥子）

予想以上に不備が見られ、継続的な管理を行うためには県、所有者、所在地自治体の連携が不可欠と感じました。指摘だけに終わることなくフォローを一緒になってできればと思います。

（垣内 博久）

【南部チーム】吉野郡

県指定文化財の保存状況に地域差を感じました。人口の過疎地域は対応力が弱いのはやむを得ません。しかし今後も素人目線で、行政にしっかり物申していく必要があると思っています。

（亀田 幸英）

吉野方面が調査地域で、通常の観光では訪れない場所も多く、貴重な経験になりました。現地調査が楽しかった半面、調査票を仕上げる難しさは毎回ついて回りました。

（神野 一美）

吉野の自然、その中で発展した文化に魅了されました。しかし、過疎化で何世代も継承されてきた文化が消滅の危機に直面しています。絶えることなく後世に継がれることを願います。

（東辻 裕子）

「県指定文化財調査」市町村別集計表

（単位：カ所）	【実施】	史跡	名勝	天然記念物	有形民俗文化財
奈良市	12	5	—	6	1
大和高田市	—	—	—	—	—
大和郡山市	6	3	—	—	3
天理市	5	1	—	3	1
橿原市	3	3	—	—	—
桜井市	9	5	—	4	—
五條市	9	4	—	3	2
御所市	4	2	—	1	1
生駒市	3	1	—	1	1
香芝市	3	1	—	2	—
葛城市	9	7	—	1	1
宇陀市	13	4	—	8	1
山辺郡山添村	4	1	1	2	—
生駒郡平群町	4	4	—	—	—
三郷町	1	1	—	—	—
斑鳩町	2	1	—	1	—
安堵町	1	—	—	—	1
磯城郡川西町	2	—	—	—	2
三宅町	2	—	—	—	2
田原本町	3	1	—	2	—

宇陀郡曾爾村	2	—	—	2	—
御杖村	1	—	—	1	—
高市郡高取町	2	1	—	—	1
明日香村	2	2	—	—	—
北葛城郡上牧町	—	—	—	—	—
王寺町	3	3	—	—	—
広陵町	1	1	—	—	—
河合町	—	—	—	—	—
吉野郡吉野町	7	1	1	5	—
大淀町	1	1	—	—	—
下市町	3	1	1	1	—
黒滝村	1	—	—	—	1
天川村	4	—	—	4	—
野迫川村	—	—	—	—	—
十津川村	2	—	—	2	—
下北山村	1	—	—	1	—
上北山村	—	—	—	—	—
川上村	3	—	—	3	—
東吉野村	2	—	—	2	—
計	130	54	3	55	18

調査実施 34市町村 =11市13町10村

なし 5市町村 =1市2町2村

ようこそ 新入会員さん！

本年 5 月 29 日（日）入会説明会が生涯学習センターで行われました。今年度ソムリエ級合格者 43 名のうち、31 名が参加。出席者の 20 名あまりがソムリエ受験対策講座を受けた方でした。

まずは豊田敏雄理事長より「ソムリエ級合格おめでとうございます。どんな些細な事からでもいいから、楽しみながらソムリエとしての活躍の第一歩を踏み出していいただきたい」と挨拶。また、鉄田憲男専務理事は当会の歩みをスライドで説明。「NPO 法人は社会貢献活動をする団体。活動は主に講師派遣・ツアーの企画とガイド・文化財の保存継承と文化活動、これが三本柱」「インプットよりアウトプット！ぜひ皆さんもグループ活動に入ってご参加ご協力をお願いします」と話されました。

そして、グループ活動紹介後、合格者の皆さんが自己紹介の 1 分間スピーチ！（以下奈良まほろばソムリエ検定を奈良検定と省略）この日出席でスピーチ、総会までに入会された方を掲載します。

本田倫子さん

聖林寺が実家で勤務先。自宅のある橿原～明日香～桜井と歴史が深い地域を通ううちに、もっと深く学びたいと思い奈良検定を受けることに。ソムリエンヌに興味あり。



齋田勉さん

東京都在住。愛知県出身。大学から東京。元電通勤務。現在奈良新聞社取締役東京支



社長。5 年前、興福寺古地図を巡るツアーに参加、その際ガイド G の女性ガイドから奈良検定を勧められ今に至る。

村尾明德さん

ガイド G に興味あり。ならまちをガイドできるようになりたい。



中島進さん

奈良検定ではたまたまよく知っていた山の辺の道の古墳巡りや地元の宇陀松山が出たのでラッキーだった。このラッキーを活かしたい。



伊藤卓也さん

ソムリエ試験は何度も落ちたが、諦めずに挑戦し続けてやっと



合格！趣味は菊作りで平城宮跡菊花展に出品している。

中堀陽一さん

奈良検定を勉強する前と後で、奈良を見る目が変わった。今まで通り過ぎていた空き地や森、川が最近「ここでどんなことがあったのか」と想像するのが楽しい。



佐藤正登さん

奈良シニア大学でガイド G の方にガイドをしてもらって、だんだん興味を持つようになった。さらに講座 G を知り勉強して合格できた。



裕順一さん

出身は大阪。転勤が多く全国を単身赴任して平成 27 年から奈良に定住。



田村基樹さん

奈良検定に出る現場を知りたくて週末にいろいろなウォークに参加。自分でも奈良の名所旧跡を歩いた。友人に明日香や山の辺の道を案内。この会でもっと学び研鑽したい。



岡本喜一さん

田原本町出身。桜井市観光まちづくり課課長。現職の観光担当なので、ソムリエの会で勉強や経験したことを仕事にフィードバックしたい。



西口信行さん

大阪出身。東京に 40 年住んでいたが 5 年前に奈良に戻る。半導体の仕事をしていた超理系系だが、シニア大学に 5 年間行き、奈良の歴史の勉強を始めた。ガイド G の人にお世話になった。



松原純さん

第 5 回「Nara 観光コンシェルジュアワード」最優秀賞。来村多加史先生からのソムリエ級取得のプレッシャーを感じて挑戦し合格。オーストラリアにも在住した。Web が得意。広報 G に入るつもり。これからも奈良の魅力を発信していきたい。



島田涼子さん

古いものを保存する活動がしたい。寺社巡り、仏像が好き。



大垣直人さん

去年一年間講座Gで勉強。その時の講師の先生方のアドバイスがなかったらこの場にいなかった。また一から勉強したい。



清水雅子さん

栃木県出身。奈良が好きで、高校卒業後奈良へ。結婚後十津川村で10年間住み、今は明日香村在住。1400年前に想いを馳せる。



石川雅司さん

宇陀市在住。歴史好き。先生方の研鑽の賜物。自分一人の力ではできないが、仲間がいて一緒に切磋琢磨してきた。今後、会で何か力が発揮できたらと思う。



茶谷慶一さん

名古屋市長在住。西山厚先生とのご縁あり。先生が名古屋で開催する「奈良の風に吹かれて」の講座を15～16年間受講。



新田隆司さん

電力会社の技術屋。きっかけは、東京の同窓会で友人に奈良を案内してほしいと言われ、勉強し案内したが「奈良に住んでいるわりに奈良のことを何も知らな



いなあ」と言われグサツときた。この屈辱感をバネに勉強。桜井市茶臼山古墳の地主さんが友人というご縁もラッキーでいろんなグループに参加したい。

梶村俊夫さん

西ノ京在住。寺社・仏像が大好きなので勉強は全然苦ではなかった。会に入ってもっと勉強したい。



塩野眞希子さん

今日参加したのは、まず講座を受けて無事合格したので、ぜひともお礼が言いたかった。それだけのために来た。テストはもうイヤ(笑)楽しみながら勉強できたらと思っている。



吉川康司さん

生まれは耳成、結婚して桜井市。仏像に興味あるが知識はなく、そんな時奈良検定と出会った。国内A級ライセンスを持っているのでスポーツカーで社寺仏閣を巡ったが、今後は足で行かないと。



梅田加都さん

出雲大社に参拝した時日本神話に触れ国譲りを知ることを知る。その舞台が生まれ育った桜井市近辺と知り古代史にのめり込む。奈良県中小企業家同友会に所属、「和会」という歴史を学ぶグループにソムリエの先輩がいて勧められた。その先輩と会の試験対策講座が無ければ合格できなかった。心から感謝しており、今は楽しい毎日。



松浦幹夫さん

奈良県の神社仏閣リストを見ると数パーセントしか訪問していないのがわかり、これから訪問したい。



山下裕章さん

仕事をリタイアしてからガイドをしている。2回目で合格できたのは受験対策講座のお陰。



谷野和史さん

学生のころから歴史に興味あり。記憶力の衰える中、繰り返し覚えた。この知識をもっと向上して活動を広めたい。



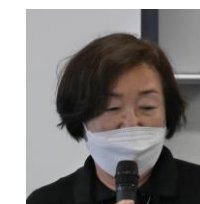
小西和子さん

旧都祁村在住。古墳にはまる。趣味はサクソフーン。また聴いていただく機会があれば。



海部和子さん

80歳まで頑張ろうと思っている。12年・13年で、2級・1級を取ったものの、ソムリエ級は難しすぎるとすっかり諦めて今年まで放棄。コロナのおかげで今年受験することになり、お陰様でギリギリセーフ。ありがとうございました。



コロナ禍で延期になっていた奈良検定。ソムリエ級合格者は喜びもひとしおのようでした。新しい扉を開けて、ワクワクドキドキ！これからの活動を皆さん楽しみにされていました。

(広報G 増田優子)

シリーズ「奈良スケッチ紀行」～水彩画で巡る名所・旧跡～

第5弾 興福寺 五重塔

ソムリエ級に合格された方々、おめでとうございます。第15回奈良まほろばソムリエ検定は無事実施され大変嬉しく思っております。

先日奈良県として69億円の予算を投入して、全国民を対象に「いまなら。キャンペーン」を実施することが決まったそうです。今年こそは奈良観光も回復し、皆さんの活動の場が広がることを心より願っております。

さて連載の奈良スケッチですが、前回に引き続き点描画のご紹介です。興福寺の五重塔は様々な角度から描いておりますが、この五十二段前から見上げた風景が一番好

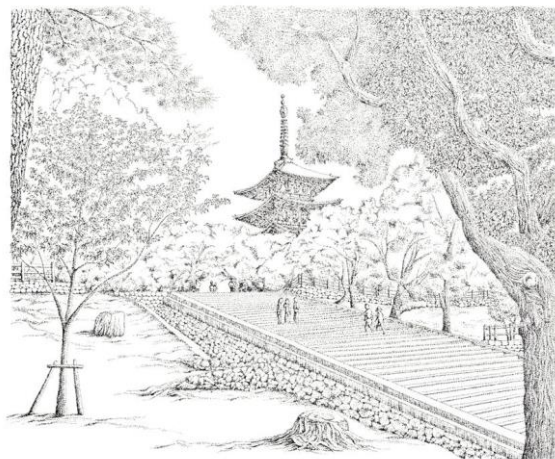
きなスポットです。

2022年度からはいよいよ五重塔の修復工事が始まります。明治34年の屋根の葺き替え工事以来120年ぶりとなるそうです。2023年1月には素屋根に覆われ見ることが出来なくなります。薬師寺東塔も約10年間姿を消し、近くに住む私は寂しい思いをしたものです。年内にはあと数作品、修復前の姿を残したいと考えております。

奈良のランドマーク的存在です

ので、新たな生命力を吹き込み、後世に繋がるシンボルとして堂々たる姿を見せることを期待しています。

* YouTube「奈良とびっきり観光ガイド」では、「興福寺」を3回に分けてご案内しております。是非一度ご覧ください。 (広報G 佳山隆生)



『惜春の大地—中村汀女を師と仰いだ吉野人の軌跡』宮川美枝子著
「吉野に生まれ、吉野を詠みつづけた俳人、岩田まさこ。この評伝は、その魅力にほれこんだ筆者が愛情こめて書きあげた労作です」(鉄田憲男さん、帯の文より)

山風に花の万朶もだえをり 岩田まさこ

—俳句とは、宇宙の縮図であり、極まりない宇宙の感動を発見して、詠み上げて、共に喜ぶこと— (本文より)

奈良の魅力を奈良人が奈良から発信!! 京阪奈新書、あをによし文庫、奈良ガイド、自費出版 **京阪奈情報教育出版**

広報グループからのお知らせ

いつも「ソムリエの風」を愛読いただきありがとうございます。37号はいかがでしたでしょうか?

36号で皆様からのアンケートを受けて、理事会の決定により、紙のソムリエの風は年1回の発行になりました。あとは、Webのソムリエの風を発行します。メール及びホームページでご覧頂くことになります。つぎはWebで秋の発行を目標にしています。メールアドレスがない方には、郵便でお届けすることになります。

それから、「奈良まほろばソムリエの会 (広報g)」という、フェイスブックをスタートしています。基本的にソムリエの会としての活動やソムリエの会に委託されたなどの活動報告や発信に活用していただきたいと思います。皆様からの投稿もお待ちしています。写真1枚と文を(50字から150字程度)送って下さい。宛先は、kouhouweb@stomo.jp です。投稿をお待ちしています。

(広報G) 磯兼・風間・柏尾・梶尾・佳山・窪田・小林(誠)・島田・中村・廣岡・二上・福岡・藤田・増田・松原・松森・吉川



特定非営利活動法人 奈良まほろばソムリエの会

事務所所在地: 〒630-8217 奈良市橋本町3-1 きらっ都・奈良 (BONCHI)

ホームページ: <http://stomo.jp/>

メールアドレス: info@stomo.jp

つれづれ日記 (ブログ): <http://nara-stomo.seesaa.net/>



HPのQRコード